

授業科目	子どもの理解と援助					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	阿南 寿美子										
授業概要	質の高い保育を行うためには、一人一人にふさわしい援助の在り方について理解を深めておくことが不可欠である。本講座では、質の高い保育とは何かを考えるとともに、「保育の心理学」や他の授業で学んだ子どもの発達を踏まえつつ、子どもの生活や遊びにおける保育者の援助に関わる事例を紹介しながら、より実践的に保育を展開するための基本事項について理解を深めます。また、多様な保育観や子ども観に触れることで、場面を柔軟にとらえる力を身につけます。										
授業形態	演習				授業方法	グループワークで事例検討及び解説を行います。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ・ 主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。 ・ 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 ・ 子どもの経験や学習過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 ・ 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 ・ 子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解する。 ・ 個々の子どもの課題や特性に応じた援助や関わりについて説明することができる。 										
理想的レベル	<p>子どもの意欲を引き出すための働きかけについて考え、行動することができる。</p> <p>他の保育者と協同的な保育を行うことの重要性について理解し、行動することができる。</p> <p>個々の子どもの特性を踏まえて、どのように援助すればよいか考えることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート		40%									
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物		40%				コメントシートなど					
その他		20%				授業時の態度、積極的なグループワークへの参加・発言など					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH31203J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	

授業の内容について振り返りを行う。		1
授業計画		
第1回	テーマ：オリエンテーション 主体的な学びを支えるための保育者のあり方について理解する。	
第2回	テーマ：保育実践における評価の意義 保育現場における評価の在り方について理解する。	
第3回	テーマ：子ども理解のあり方・視点 子ども理解の方法について理解する。	
第4回	テーマ：保育における学びの意義 生活及び遊びの中での学びを促すための保育者の援助について理解する。	
第5回	テーマ：環境を通した保育とは 子どもの健やかな成長・発達を支える環境としての保育者の役割について理解する。	
第6回	テーマ：動機づけの重要性 子どもの主体性を育む保育-動機づけのあり方について理解する。	
第7回	テーマ：学びを促すための保育者の援助 学ぶ意欲と原因帰属についての原理を学び、保育者の援助の必要性について理解する。	
第8回	テーマ：学びを促すための保育者の援助2 条件づけの学習理論と保育者の援助について理解する。	
第9回	テーマ：生活及び遊びを促す環境 子どもの意欲を引き出す環境について理解する。	
第10回	テーマ：子どもの協同性を育む保育-自己主張と自己統制、個と集団の関係性 遊びの中で育まれる仲間関係について理解する。	
第11回	テーマ：多様な子どもの援助 保育現場にいる多様な子どもへの援助を事例を通して学ぶ。	
第12回	テーマ：遊びを豊かにする保育者の援助① 実習事例を中心にさまざまな保育場面における事例について考察を行う。	
第13回	テーマ：遊びを豊かにする保育者の援助② さまざまな事例検討を通して、子ども理解の必要性と保育者の援助について理解を深める。	
第14回	テーマ：豊かな遊びとは 遊びを豊かに展開するための保育者の援助のあり方について理解する。	

<p>第 15 回</p>	<p>テーマ：前期授業をふりかえる まとめと振り返りを行う。</p>
<p>テキスト</p>	<p>特に使用しない。授業中にレジユメやスライド資料等を配布する。</p>
<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成 29 年告示） 子どもの心の育ちをエピソードで描く（鯨岡峻、ミネルヴァ書房） 乳児期の発達と生活・あそび（長瀬美子、ちいさいなかま社） 幼児期の発達と生活・あそび（長瀬美子、ちいさいなかま社） ごっこ遊び（河崎道夫、ひとなる書房） 「遊びの保育」の必須アイテム（加用文男、ひとなる書房）</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>コメントシートによる内容の振り返りは授業内で行います。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>「保育の心理学」や他の授業で学んだ知識を振り返るとともに、自主実習や「教育実習」、「保育所実習」での体験をもとに子どもの発達の様子を確認しておいてください。 この科目は様々な授業や実習で学んだこと全てが関連します。それを踏まえて、乳幼児期の保育がどのように展開されるのが望ましいか意識しながら授業に臨んでください。また、グループワークと発表を取り入れながら授業を進めていきますので、積極的な参加を期待しています。</p>